

ESET Endpoint アンチウイルス for Linux
V12.2
オンラインヘルプ補足資料

第 1.1 版

■改訂履歴

版数	改訂日	改訂内容
1.0	2026/1/19	初版作成
1.1	2026/2/13	RHEL10 の ESET Management Agent サポート開始

■本書について

- 本資料は、ESET Endpoint アンチウイルス for Linux（以降、EEAL）のオンラインヘルプの内容を補完する位置づけの資料です。EEALを使用する際には、下記オンラインヘルプも併せて参照ください。

<https://help.eset.com/eeau/12.2/ja-JP/>

- 本資料には、EEALの管理製品であるESET PROTECT(以降、EP)およびESET PROTECT on-prem (以降、EPO)の基本的な機能や用語に関する説明はありません。基本的な機能や用語については、EPおよびEPOのマニュアルやオンラインヘルプを参照ください。
- 本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また本資料の内容は、改訂などにより予告なく変更することがあります。
- 本資料の著作権は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社に帰属します。本資料の一部または全部を無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。
- ESET、ESET Endpoint アンチウイルス for Linux、ESET PROTECT は、ESET, spol. s. r. o.の商標です。

■注意事項

オンラインヘルプの注意事項を以下に記載します。
オンラインヘルプに記載されている内容と異なる場合、本資料に記載された内容を正とします。

[要件とサポート対象の製品]

- 日本では以下のオペレーティングシステムがサポートされます。

OS
Ubuntu Desktop 20.04 LTS
Ubuntu Desktop 22.04 LTS
Ubuntu Desktop 24.04 LTS
Linux Mint 21
Linux Mint 22
Debian 12
Debian 13 ※2
RedHat Enterprise Linux (RHEL) 8 ※1
RedHat Enterprise Linux (RHEL) 9 ※1
RedHat Enterprise Linux (RHEL) 10 ※1 ※3

※1 特定のデスクトップ環境のみ（最終ページ参照）

※2 EP または EPO12.1（ESET Management Agent 12.3）以降で管理可能

※3 EP または EPO13.0（ESET Management Agent 12.5）以降で管理可能

- サポートされている言語は、日本語(日本)になります。

[デバイスコントロール]

- デバイスコントロールは SD カードに対応していません。

目次

1	インストール要件.....	6
1.1	前提条件.....	6
1.2	導入パッケージ.....	7
1.3	サポートされているディスプレイサーバー	7
1.4	サポートされているデスクトップ環境.....	8

1 インストール要件

インストールについては、オンラインヘルプの「インストール」の項目を参照してください。ここでは、主に導入における前提条件や製品の注意事項、オンラインヘルプに記載のない補足事項について記載します。

本製品を導入する前に、OS の最新アップデートをインストールしてください。

1.1 前提条件

本製品を導入するにあたり前提条件は以下となります。EEAL をインストールする前に以下の条件を満たしていることを確認ください。

- ・プロセッサ Intel/AMD x64
- ・700MB のハードディスク空き領域
- ・openssl 1.1.1 以降のバージョンが導入されていること
- ・UTF-8 エンコーディングを使用する任意のロケール

!重要

AWS カーネルを使用した Linux ディストリビューションはサポートされていません。

ワンポイント

openssl 1.1.1 以降を事前に導入しないと EEAL のコマンド実行が失敗し正常に機能しません。

誤って EEAL をインストールしてしまった場合は openssl1.1.1 以降を導入後、EEAL を再インストールしてください。

1.2 導入パッケージ

EEAL をインストールするコンピューターには「1.1 前提条件」に記載されているパッケージのほかに以下のパッケージも導入されます。

- RHEL に必要とされるパッケージ
 - gcc
 - make
 - elfutil-libelf-devel
 - kernel-devel
 - nftables
 - libcurl
 - nss-tools
- Ubuntu、Linux Mint、Debian に必要とされるパッケージ
 - gcc (※)
 - make
 - libelf-dev
 - linux-headers-generic
 - linux-headers-generic-hwe
 - nftables
 - libcurl4
 - libnss3-tools

ワンポイント

OS リポジトリに接続できる環境で「1.1 導入前提パッケージ」記載のパッケージが事前にインストールされている場合、EEAL インストール時に OS リポジトリより自動的に取得し導入します。
上記記載のパッケージと依存関連パッケージの導入が必要です。

※Ubuntu 22.04 LTS および Linux Mint 21 上の最新カーネルに必要な「gcc-12」については、手動で導入する必要があります。

1.3 サポートされているディスプレイサーバー

EEAL をインストールするコンピューターには以下のディスプレイサーバーがサポートされています。

- X11
- Wayland

1.4 サポートされているデスクトップ環境

EEAL をインストールするコンピューターには以下のデスクトップ環境がサポートされています。

- Cinnamon 5.0 以降
- GNOME 3.28.2 以降
- KDE
- MATE
- XFCE